



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0008449

# エコアクション21 環境経営レポート

2020年度版  
(2020年4月～2021年3月)



2021年5月30日発行



清興建設株式会社

# 目 次

1. 組織の概要	1
2. エコアクション21の対象範囲	3
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	8
＜参考資料＞当社の環境への取組の足跡（CO <sub>2</sub> 排出量の推移）	16
7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況 の取組結果とその評価	17
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	19
9. 環境関連法規等の遵守状況	21
10. 代表者の全体評価と見直し結果	21



## ごあいさつ

創業53年目を迎え、周りの皆様に支えられてここまで歩んでまいりました。福岡市内及び福岡県を中心に北部九州全般まで足を運ばせて頂いております。お客様の夢やこだわりを形に変えて、自然や体に優しい建物を手掛けています。匠な技術を持つ職人仲間が集まり、1件1件丁寧に施工し、後のメンテナンスやリフォームの相談等、地域密着工務店を目指しています。また、地震に備えて耐震診断や耐震補強工事も行っております。診断においては、建物の強度や老朽化を知ることが出来るツールと考え、1件でも多く診断を行い、建物倒壊のリスクを抑える事で、安全で環境にも配慮できると考えます。

また、エコアクション21は2012年に認証・登録して早9年になりました。社員のエコに対する考え方、エコを意識する事、実現に繋げる事を念頭に置き、社員一丸となり、ここまで歩んでまいりました。

昨年から新ガイドラインへと移行し、まだ手探りの中ではありますが、『現在は未来からの預かりもの』をスローガンに掲げ、確実に成果を上げることが出来るよう社員と共に1年後、2年後、さらに未来へと繋げていきたいと思っております。



清興建設株式会社

代表取締役 原田 信一

## 1.組織の概要

### 1-1. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者 清興建設株式会社 代表取締役 原田 信一
- (2) 所在地 (本社事務所) 福岡市南区桜原7丁目40番5号  
(資材置場・作業所) 福岡市早良区梅林7丁目15番6号

(3) 環境管理責任者・連絡先

環境管理責任者： 代表取締役 原田 信一  
連絡先： TEL 092-512-0161  
FAX 092-512-3325  
E-mail [seikou@ace.ocn.ne.jp](mailto:seikou@ace.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.q-fukuoka.com/seikou/>

(4) 事業規模

活動規模	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
資本金	万円	2500					
売上高	百万円	205	234	207	348	125	286
従業員数	人	5	5	6	5	5	5
床面積 (本社事務所)	m <sup>2</sup>	117	117	117	117	117	117
(資材置場・作業所)	m <sup>2</sup>	436	436	436	436	436	436

- (5) 事業内容 建築工事業(公共工事・ビル・工場・マンション・住宅・リフォーム)  
福岡県知事許可(特-03) 第14548号

- (6) 事業年度 4月 ~ 翌年3月

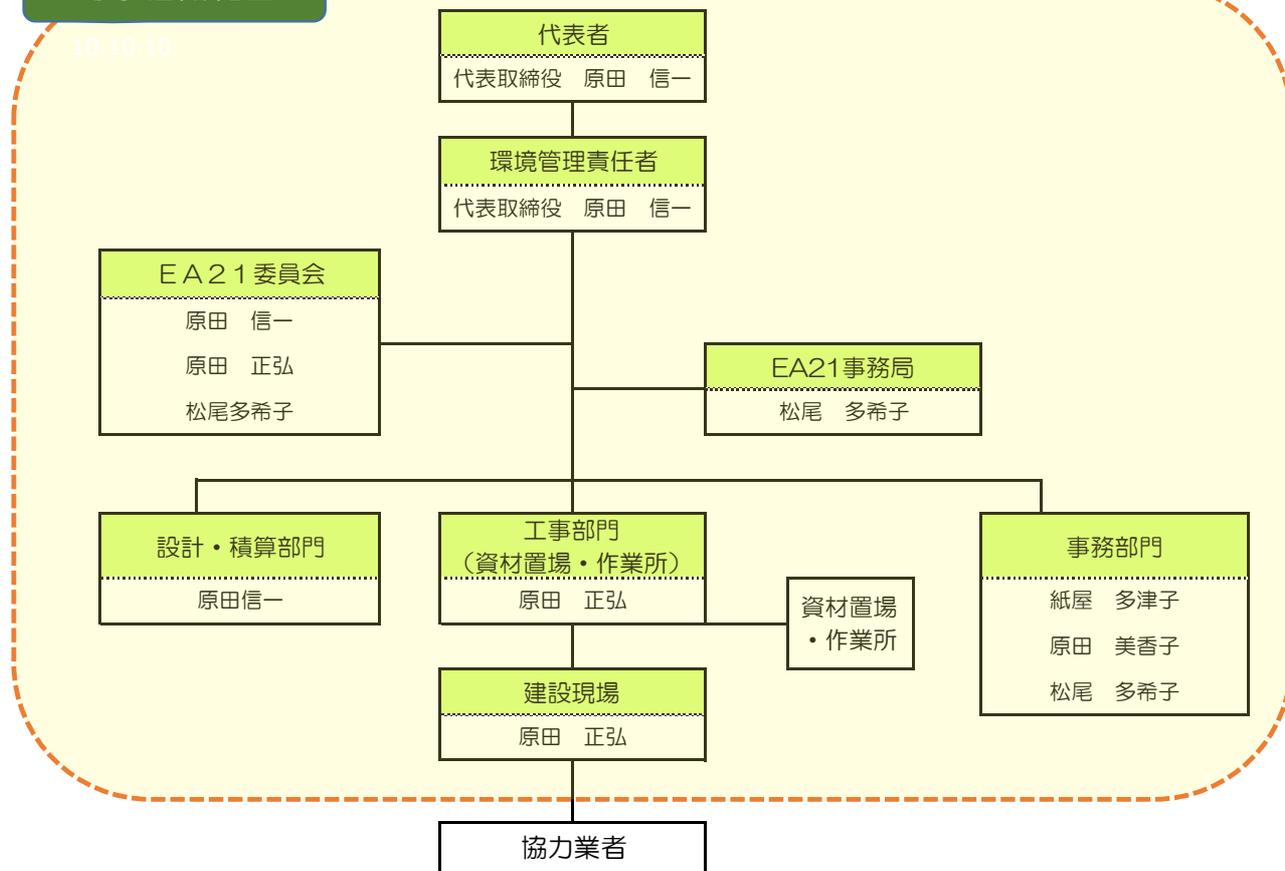
- (7) 法人設立年月日 1968年4月1日

### 1-2. 認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象組織 清興建設株式会社 本社、資材置場・作業所
- (2) 対象活動 建築工事業(木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の新築工事及び改修工事)
- (3) 対象外組織 なし(全組織、全活動を対象とする)

## 2.エコアクション21の対象範囲

### 対象組織範囲



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
原田 信一	代表取締役 環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための人とお金の準備、全体の評価と見直し</li> <li>全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築と運用</li> <li>EA21文書及び・維持・管理</li> </ul>
原田 信一	設計・積算部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力、水消費量の管理 ・省エネルギー住宅、耐震補強の推進・提案</li> <li>車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理 ・地域ボランティア活動</li> </ul>
原田 正弘	工事部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の排出量管理</li> </ul>
紙屋多津子	事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調温度管理</li> <li>節水</li> </ul>
原田美香子	事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>水使用量の記録</li> <li>電気使用量の記録</li> </ul>
松尾多希子	事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別回収と排出 ・裏紙利用</li> <li>フロン排出抑制法に伴う簡易点検及び事務所活動での排出ごみ量計測</li> </ul>
E A 2 1 委員会		<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1回、第2金曜日の工程会議後に委員会を開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する。</li> <li>問題点が発生した場合は必要な是正処置を検討・実施する</li> </ul>
E A 2 1 事務局		<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会資料の作成 ・ E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・管理</li> <li>データの集計、取組記録 (S-12) についての問題提議</li> </ul>
※現場代理人 (原田正弘)	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力、水消費量の管理 ・ 化学物質の適正な把握</li> <li>車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量管理</li> </ul>

### 3. 環境経営方針

#### 【基本環境理念】

弊社は、事業活動において生ずる環境への影響を考慮し、現在の環境を『未来からのあずかりもの』としてとらえ、次の世代に引き継げるよう、事業活動の環境負荷軽減に取り組みます。また、建物の長寿命化を目標とし、耐震補強の普及や資源を有効に活用できるよう積極的に取り組みます。

#### 【環境活動方針】

環境理念の下、以下の取組を重点項目と定め全社員で構築した環境経営システムを運用し、適時見直しを行い、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 電力、燃料消費量の抑制により二酸化炭素排出量削減に取り組みます。
2. 廃棄物排出量削減のため、分別を積極的に行い、リサイクルを推進します。
3. 節水に努めます。
4. 化学物質の内容把握に努め、適正な使用を行います。
5. 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事を推進します。
6. 地域貢献活動及びボランティア活動を行ないます。
7. 環境関連法規を遵守します。
8. 環境経営活動レポートを作成し、公表します。

制定日 2011年10月1日

改訂日 2020年4月1日

清興建設株式会社  
代表取締役 原田 信一



## 4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場の2つのサイトに区分して、以下のとおりです。
- エコアクション21の環境への取組も10年を経過し、ソフト面の環境対策のみでは今以上の削減は難しい状況にあるため、今回の中長期目標は現状維持を基本としました。
- なお、次期中長期目標策定にあたっては、経営課題の改善状況（人材確保、省エネ住宅の顧客ニーズ変化等）やハード対策（特に設備更新）を踏まえて、更なる改善につながる目標を検討していきます。

環境経営目標		単位	基準年	単年度目標	中期目標		
			2019年度 (実績値)	2020年度	2021年度	2022年度	
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,285	7,212 (1%削減)	7,212 (1%削減)	7,212 (1%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	6,758	6,690 (1%削減)	6,690 (1%削減)	6,690 (1%削減)
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,123	2,101 (1%削減)	2,101 (1%削減)	2,101 (1%削減)
	2	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	363	359 (1%削減)	359 (1%削減)	359 (1%削減)
	4	省エネルギー型建築物の設計・ 施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (耐震補強工 事)	8	8	8	8
5	地域貢献活動及びボランティア 活動への参加	件	11	5	5	5	
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,475	4,430 (1%削減)	4,430 (1%削減)	4,430 (1%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	979	969 (1%削減)	969 (1%削減)	969 (1%削減)
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,591	1,575 (1%削減)	1,575 (1%削減)	1,575 (1%削減)
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	168	166 (1%削減)	166 (1%削減)	166 (1%削減)
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を 分別回収する	% (再資源化率)	91	92	92	92
	3	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	8	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSによる適正管理を行う		

備考) ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2019年度調整後排出係数(0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて算出した。

- ・( )は基準年の削減率を示す
- ・計画に不都合があれば毎年見直す

## 5. 環境経営計画

- 環境経営目標を達成するため、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場で具体的な活動項目と責任者を決めて、以下の取組を行いました。

### 5-1 本社(事務所)

#### (1) 二酸化炭素排出量の1%削減

取組目標	活動項目	責任者
① 電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	原田 美
	空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	原田 美
	パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)	原田 美
	クールビズ、ウォームビズの推進	紙 屋
② ガソリン使用量の1%削減	エコドライブの推進	原田 信
	アイドリングストップ	
	タイヤの空気圧のチェック	

#### (2) 総排水量(給水量)の削減

取組目標	活動項目	責任者
① 節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	原田 信

#### (3) 廃棄物(一般廃棄物)の1%削減

取組目標	活動項目	責任者
① 一般廃棄物の1%削減	排出量の計測(現状の把握)	松 尾
	廃棄物の分別を決め、実行する	
	使用済み用紙の裏面利用	

#### (4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

取組目標	活動項目	責任者
① 省エネルギー型建築物の設計・ 施工提案及び耐震補強工事の推進 (8件/年)	太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進する	原田 信
	木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	

#### (5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

取組目標	活動項目	責任者
① 地域貢献活動及びボランティア活動 への参加 (5件/年)	地域の清掃活動に参加する	原田 信
	地域のお祭りで舞台を設営する	
	空き家パトロールへの参加(防災関連)	

## 5-2 資材置場・作業所及び建設現場

### (1) 二酸化炭素排出量の1%削減

取組目標		活動項目	責任者
①	電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	原田 正
②	ガソリン、軽油使用量の1%削減	段取りをよくし、無駄な移動をしない エコドライブの推進	

### (2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

取組目標		活動項目	責任者
①	産業廃棄物の再資源化 (再資源化率92%)	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める 余分な材料を注文しない。 発注間違いをなくす。 産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)	原田 正

### (3) 総排水量(給水量)の削減

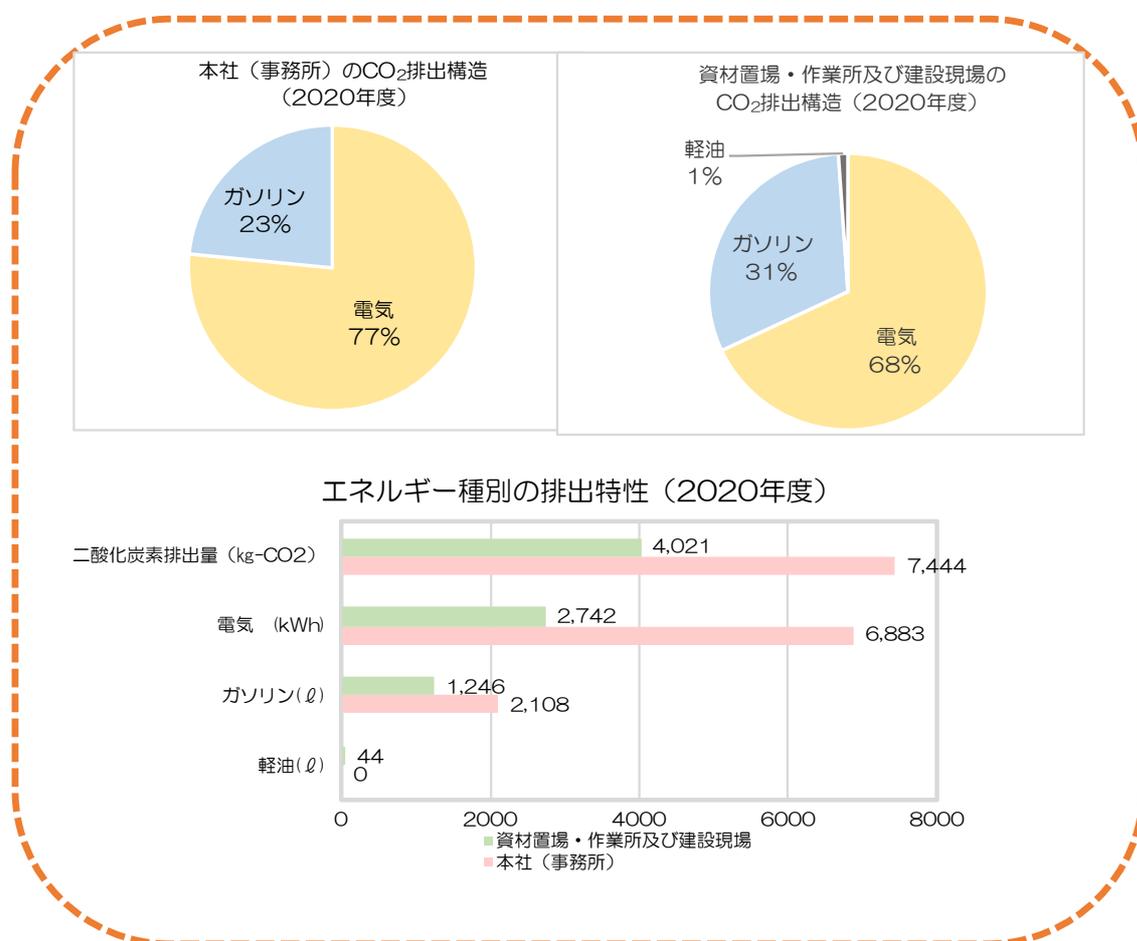
取組目標		活動項目	責任者
①	節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	原田 正

### (4) 化学物質の適正な管理

取組目標		活動項目	責任者
①	化学物質の適正な管理	安全データシート(SDS)を取り寄せる。 化学物質含有製品の把握 塗料・接着剤等使用時の製品の検討	原田 正

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- 2020年度環境経営計画に基づき実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- なお、取組にあたっては当社の環境負荷特性を踏まえて、本社(事務所)と資材置場・作業所及び建設現場に分けて実施しました。



### 6-1 本社（事務所）

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

- 本社（事務所）の二酸化炭素排出構造は、電気使用量が約8割を占めていたので、事務所内の電化製品（照明、エアコン、OA機器等）を中心とした節電対策に取り組みました。

#### <電気使用量の削減>

活動項目	
①	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)
②	空調の適温化(暖房20度、冷房28度)
③	パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)
④	クールビズ、ウォームビズの推進

①照明の管理徹底（使用していない部屋及び休憩時間の消灯）

- お昼休みは玄関前を除く部分は全て消灯しています。
- 使っていない机の上部は電灯管を間引いています。



②空調の適温化(暖房20度、冷房28度)



- 冬は20°C設定、夏は基本28°Cを設定しています。夏場は熱中症を鑑みて温度計と熱中症指数を示すWBGTを見ながら室温を設定し、健康管理を行っています。

③パソコン等の事務用機器の節電徹底



- 昼休みにはプリンターの電源、パソコンの電源をできる限りOFFにしています。
- 普段使用していない製品はコンセントから抜くようにしています。

④クールビズ、ウォームビズの推進

- 夏場は通気性の良い服や、素材に気を付けて涼しい服を着用、冬は、寒くなったらレッグウォーマーやひざ掛け等を利用したり、インナーに保温性の高いものを着用するようにしました。

<ガソリン使用量の削減>

活動項目	
①	エコドライブの推進
②	アイドリングストップ
③	タイヤの空気圧のチェック

①エコドライブの推進 ②アイドリングストップ

- ・エコドライブを心掛け、停車時はアイドリングストップで運転するよう唱えています。
- ・また、意識を高められるように、車のダッシュボードに啓発の紙を貼って、目で見えて意識することや車をメンテナンスに出したり、エンジンオイルを交換することで走行距離を伸ばせるよう心掛けました。



③タイヤの空気圧のチェック

- ・スタンドでガソリンを入れる時などに空気圧のチェックをしてもらいました。

(2) 総排水量（給水量）の削減

活動項目	
①	蛇口はこまめに閉める(水の出しっぱなしをやめる)

- ・当社は井戸水を使用しているのですが、基本的には料金はかかりませんが、貴重な資源の無駄を無くすという意味での節水に取り組んでいます。



- ・井戸水を利用して車の洗車をしています。
- ・井戸水の利点としては災害時にパイプラインが途絶えても関係なく使えるという事です。夏は冷たく冬は暖かく感じます。

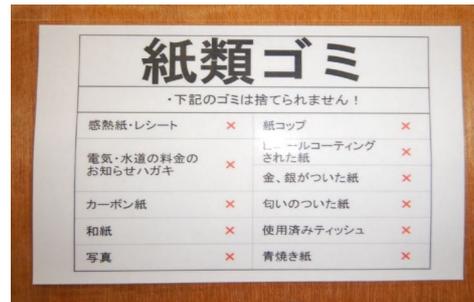
(3) 廃棄物（一般廃棄物）の削減

活動項目	
①	排出量の計測（現状の把握）
②	廃棄物の分別を決め、実行する
③	使用済み用紙の裏面利用

①ごみ排出量の計測



②廃棄物の分別を決め、実行する



③使用済み用紙の裏面利用



- コピー用紙や図面などの裏紙を使用しています。
- A1やA2図面もよく使うA4サイズに裁断して利用しました。
- また、開封した封筒も裏返しにして封筒を作ったり、メモサイズに切ってメモ用紙として利用しています。

(4) 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進

活動項目	
①	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）を推進する
②	木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する



- 省エネルギーの推進に関しては、コロナ渦でなかなかお客様との接触が難しく、セミナーや耐震診断もキャンセルになることが多かったです。
- その中でも協議会では模索してセミナーは誰もが見る事ができるように動画配信にしました。
- また、会社の受付カウンターの上には耐震工事に関するパンフレットや省エネルギー関係の資料を置いてアピールしています。
- 耐震工事もコロナの影響で厳しい状況ではありましたが、2件工事することが出来ました。



(5) 地域貢献活動及びボランティア活動への参加

活動項目	
①	地域の清掃活動に参加する
②	地域のお祭りで舞台を設営する
③	空き家パトロールへの参加（防災関連）

①地域の清掃に参加



・今年も11月に香椎宮の清掃活動に参加しました。他の建設業者さんも合同での活動です。建物の隅にはたくさんの落葉があり、陽のあたる場所では汗が出るほど暖かく、清掃が終わると境内はきれいにすっきりになりました。七五三の参拝客もいらっしゃいましたので清々しい気持ちになりました。今後も活動を続けていきます。



② 地域のお祭りで舞台の設営

・今年度の夏祭りの年ではなかったので設営はありませんでした。

③ 空き家パトロールへの参加（防災関連）

・今年度の2か月に1度のパトロールはコロナウイルス感染症予防の為、中止となりました。  
 ・しかし、大雨による警報が出ていた6月27日と7月7日は防災事務所にて待機し、災害の連絡が入ればすぐに対処できるようにしました。（災害の連絡なし）

## 6-2 資材置場・作業所及び建設現場

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

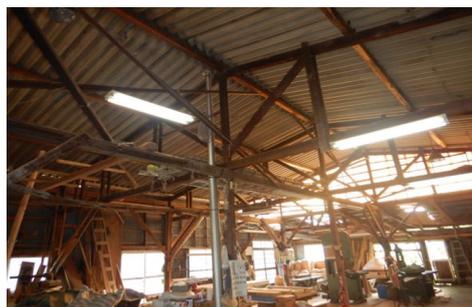
- 資材置場・作業所及び建設現場の二酸化炭素排出量は電気が約7割を占めています。これは、6月と7月に新築物件を受注しており、作業所での木造加工が原因です。また10月に内部改造工事を受注し、工事で使用した電気が反映されています。
- 効率的な電気、ガソリンの使用に努めました。

#### <電気使用量の削減>

活動項目	
①	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)



• 照明は使用する場所のみ電灯管を取付て、それ以外の場所は電灯管を外しています。



#### <ガソリン・軽油使用量の削減>

活動項目	
①	段取りをよくし、無駄な移動をしない
②	エコドライブの推進

- 環境に配慮して運転するように心掛けています。
- 軽トラのダッシュボードには、エコドライブを意識するよう目の届くところに啓発の紙を貼り、常に視界に入るようにしました。



(2) リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する

活動項目	
①	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める
②	余分な材料を注文しない。
③	発注間違いをなくす。
④	産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）

- ・余分な材料の発注はありませんでした。発注の間違ひもありませんでした。
- ・無駄を無くし効率よく発注・使用することができたので、来期もこの調子で継続させていきたいです。

① 廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める

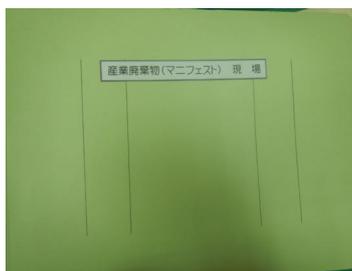


② 余分な材料を発注しない

③ 発注間違いをなくす

④ 産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）

- ・解体工事の際は産業廃棄物委託契約書を締結し、マニフェストの作成、発行、保存を適切に行い、返却されたマニフェストは現場ごとに保存しています。



### (3) 総排水量（給水量）の削減

活動項目	
①	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)



- 節水の紙を貼って取り組んでいます。
- 屋外にあるので、洗車に使ったりもします。
- こまめに止める事を意識して使用しました。

### (4) 化学物質の適正な管理

活動項目	
①	安全データシート（SDS）を取り寄せる。
②	化学物質含有製品の把握
③	塗料・接着剤等使用時の製品の検討

- 防水工事や塗装工事等行う現場において、安全データシートを取り寄せPRTR法に該当する場合は含有量を計算し記録しています。
- 安全データシートは各現場ごとにファイルし、インデックスを貼って保存しています。

- ① 安全データシートを取り寄せる
- ② 化学物質含有製品の把握

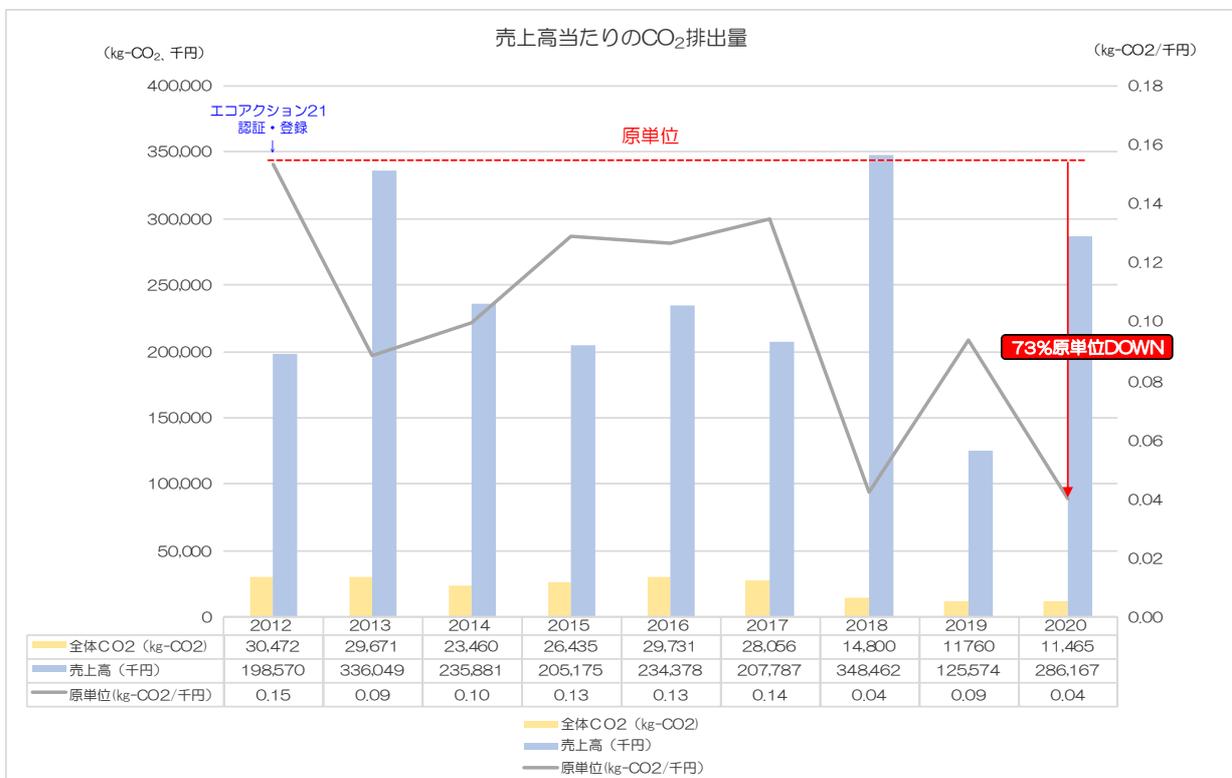
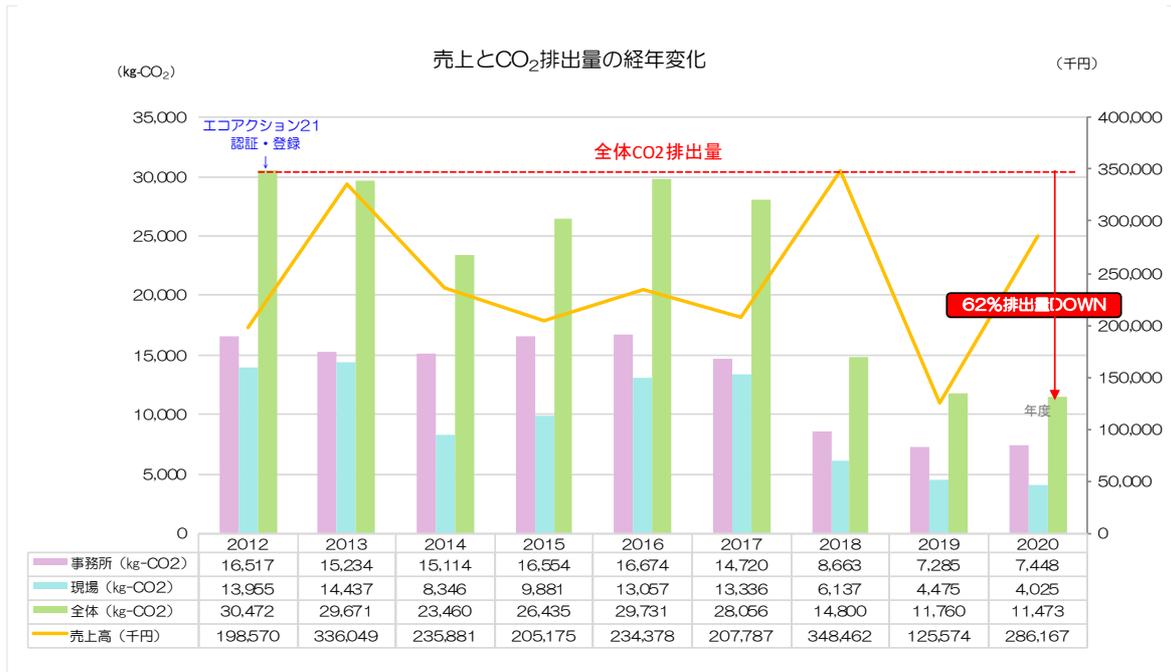


- ③ 塗料・接着剤等使用時の製品の検討

- 打合せ等で、予算や工期等を鑑みて、なるべく環境に良い塗料・接着剤を使用するように考えています。
- 今年度は保育園を改築する上で、塗料は「F☆☆☆☆」の環境にやさしいものを使用しました。

## 当社の環境への取組の足跡（CO<sub>2</sub>排出量の推移）

- ・ 本社（事務所）と資材置場・作業所及び建設現場におけるエコアクション21の認証・登録年度より現在に至る9年間の売上とCO<sub>2</sub>排出量の経年変化と、売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量（原単位）をグラフにしました。
- ・ この結果、エコアクション21認証登録時（2012年度）に対して、2020年度は売上が1.4倍以上増加しましたが、全体CO<sub>2</sub>排出量は逆に62%ダウンし、売上額当たりの排出量（原単位）も73%ダウンして、環境にやさしい事業活動が実践されていました。



## 7. 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の取組結果とその評価

- 環境経営目標は当社の事業活動を踏まえて、本社(事務所)で5項目7目標、資材置場・作業所及び建設現場で4項目7目標を設定しました。

### 【本社（事務所）】

- 本社（事務所）はほとんどの項目で目標を達成し、取組も適切に実施できました。なお、二酸化炭素排出量が僅かに目標値を上回りましたが、次年度は目標達成を目指します。

環境経営目標	単位	2020年度 (2020年4月～2021年3月)		目標達成率	目標達成状況	
		目標値	実績値			
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,212 (1%削減)	7,444	97%	△	
	1-1. 電気使用量の削減	kWh	6,690 (1%削減)	6,883	97%	△
	1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	2,101 (1%削減)	2,108	100%	△
2 総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	節水に努める (72)	節水に努めた (72)	(100%)	○	
3 廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	359 (1%削減)	333	108%	○	
4 省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (現場数)	8	12	150%	◎	
5 地域貢献活動及びボランティア活動への参加	回数	5	6	120%	◎	

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	活動項目	実施状況
電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(使用していない部屋及び休憩時の消灯)	◎
	空調の適温化(暖房20度、冷房28度)	△
	パソコン等の事務用機器の節電徹底(コンセントをこまめに抜く)	◎
	クールビズ・ウォームビズを励行し冷暖房使用を抑える	◎
ガソリン使用量の1%削減	エコドライブの推進	◎
	急発進、急ブレーキをしない	◎
	エアコンの使用を控えめにする	○
節水に努める	蛇口をこまめに閉める	◎
	洗車はバケツに水を入れて洗う	◎
リサイクル可能な一般廃棄物を分別回収する	排出量の計測(排出現状の把握)	◎
	廃棄物の分別を決め、実行する	◎
	使用済み用紙の裏面利用しリサイクル率を高める	◎
省エネルギー型建築物の設計・施工提案及び耐震補強工事の推進	太陽熱利用住宅(OMソーラーハウス)を推進する	-
	木造住宅の耐震診断をして、補強工事を提案する	◎
地域貢献活動、ボランティア活動への参加	地域の清掃活動に参加する	○
	地域のお祭りで舞台を設営する	-
	地域の空き家ハトリールに参加する(防災関連)	○

実施状況区分 ◎：良く実施されている(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

## 【資材置場・作業所及び建設現場】

- ・資材置場・作業場及び建設現場は電気使用量と産業廃棄物再資源化率、総排水量で目標未達成となりましたが、その他項目は目標を達成し、特に二酸化炭素排出量は、目標達成率110%を達成しました。
- ・環境への取組については全て適切に実施されており、今後もこの取組を維持していきます。

環境経営目標		単位	2020年度 (2020年4月～2021年3月)		目標達成率	目標達成状況	
			目標値	実績値			
資材置場・作業所及び建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,430 (1%削減)	4,021	110%	○
		1-1. 電気使用量の削減	kWh	969	2,742	35%	×
		1-2. ガソリン使用量の削減	ℓ	1,575 (1%削減)	1,246	126%	◎
		1-3. 軽油使用量の削減	ℓ	166 (1%削減)	44	377%	◎
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を分別回収する	% (再資源化率)	92	91	99%	△
	3	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	節水に努める (8.0)	節水出来なかった (9.5)	(84%)	△
	4	化学物質の適正な管理	kg	把握と適正管理に努める	把握と適正管理を行った	-	◎

・目標達成状況区分 ◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満 ×80%未満 -：判定不可

取組目標	活動項目	達成状況
電気使用量の1%削減	照明の管理徹底(作業していない場所及び休憩時の消灯)	○
ガソリン・軽油使用量の1%削減	段取りをよくし、無駄な移動をしない	◎
	アイドリングストップを励行する	○
	急発進・急加速を行わない	◎
	タイヤの空気圧を確認する	○
リサイクル率を上げ、最終処分量を削減する	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める	◎
	余分な材料を注文しない(端材・部材の転用)	◎
	発注間違いをなくす	◎
	産業廃棄物の適正処理(委託契約書・マニフェスト伝票)	◎
節水に努める	蛇口はこまめに閉める(水の出っぱなしをやめる)	◎
現場における化学物質含有製品と使用量確認	安全データシートの取り寄せ	◎
	化学物質含有製品の把握	◎
	塗料・接着剤等使用時の製品の検討	◎

実施状況区分 ◎：良く実施されている(定着) ○：実施されている △：ほぼ実施されている ×：実施されていない -：判定不可

## 8.次年度の環境経営目標と環境経営計画

- ・2020年度の運用成績を踏まえて、次年度の計画は以下のとおりとしました。

### 8-1環境経営目標

- ・次年度は、当初策定していた中長期目標の適用を考えていましたが、今年度のコロナ渦でのボランティア活動機会の減少、資材置場・現場での作業量の増加の実績を踏まえて、当初の目標を見直し、次のとおりとしました。

赤字は見直した目標値

環境経営目標		単位	基準年	単年度目標	中期目標		
			2019年度 (実績値)	2020年度	2021年度	2022年度	
本社 (事務所)	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,285	7,212 (1%削減)	7,212 (1%削減)	7,212 (1%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	6,758	6,690 (1%削減)	6,690 (1%削減)	6,690 (1%削減)
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	2,123	2,101 (1%削減)	2,101 (1%削減)	2,101 (1%削減)
	2	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	72	節水に努める		
	3	廃棄物(一般廃棄物)の削減	kg	363	359 (1%削減)	359 (1%削減)	359 (1%削減)
	4	省エネルギー型建築物の設計・ 施工提案及び耐震補強工事の推進	件 (耐震補強工事)	8	8	8	8
	5	地域貢献活動及びボランティア 活動への参加	件	11	5	2	2
資材置場・ 作業所及び 建設現場	1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	4,475	4,430 (1%削減)	4,430 (1%削減)	4,430 (1%削減)
		1-1.電気使用量の削減	kWh	979	969 (1%削減)	979	979
		1-2.ガソリン使用量の削減	ℓ	1,591	1,575 (1%削減)	1,575 (1%削減)	1,575 (1%削減)
		1-3.軽油使用量の削減	ℓ	168	166 (1%削減)	166 (1%削減)	166 (1%削減)
	2	リサイクル可能な産業廃棄物を 分別回収する	% (再資源化率)	91	92	92	92
	3	総排水量(給水量)の削減	m <sup>3</sup>	8	節水に努める		
	4	化学物質の適正な管理	-	-	化学物質使用量の把握とSDSによる適正管理を行う		

- 備考)
- ・二酸化炭素排出量の購入電力については、九州電力㈱の2019年度調整後排出係数(0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて算出した。
  - ・( )は基準年の削減率を示す
  - ・計画に不都合があれば毎年見直す

## 8-2 環境経営計画

・次年度の取組については、今年度を継続するものとし、サイト別に次のとおりとしました。

項 目		取組内容	本社 (事務所)	資材置場・ 作業所及び 建設現場
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電気使用量の削減	照明の管理徹底（使用していない部屋及び休憩時の消灯）	○	○
		空調の適温化（暖房20度、冷房28度）	○	
		パソコン等の事務用機器の節電徹底	○	
		クールビズ、ウォームビズの推進	○	
	ガソリン・経由使用量の削減	エコドライブの推進	○	
		アイドリングストップ	○	
		タイヤの空気圧のチェック	○	
		段取りを良くし、無駄な移動をしない		○
総排水量（給水量）の削減		蛇口はこまめに閉める（水の出っぱなしをやめる）	○	○
廃 棄 物 排 出 量 の 削 減	一般廃棄物の削減	排出量の計測（現状の把握）	○	
		廃棄物の分別を決め、実行する	○	
		使用済み用紙の裏面利用	○	
	産業廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底し、再資源化に努める		○
		余分な材料を発注しない		○
		発注間違いをなくす		○
		産業廃棄物の適正処理（委託契約書・マニフェスト伝票）		○
	省エネルギー型建築物の設計・施工 提案及び耐震補強工事の推進	太陽熱利用住宅（OMソーラーハウス）の推進	○	
木造住宅の耐震診断をして、耐震補強工事を提案する		○		
地域貢献活動及びボランティア活動 への参加	地域の清掃活動に参加する	○		
	地域のお祭りで舞台設置	○		
	空き家パトロールへの参加	○		
化学物質の適正な管理	安全データシートを取り寄せる		○	
	化学物質含有製品の把握		○	
	塗料・接着剤等、使用時の製品の検討		○	

## 9 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

- ・2020年度の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、法令違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法規・条例・規制	適用対象	摘要される項目	評価
産業廃棄物処理法	一般廃棄物	委託契約	○
	産業廃棄物	マニフェスト・訂正処理・契約書保存	○
		年1回市への報告書提出	○
労働安全衛生法	石綿等	労働基準監督署に計画届提出	-
建設リサイクル法	解体工事	分別解体再資源化・届け出・報告	○
建築基準法	居室を有する建築物	材料クロルビリホスの使用禁止	○
		ホルムアルデヒドの制限	○
騒音規制法	杭打機・びょう打機・空気圧縮機を使用する作業	85 dB以下	-
振動規制法	杭打機・びょう打機・フレカ-、舗装版破碎機を使用する作業	75 dB以下	-
温暖化対策推進法	事業活動全般	温室ガス排出の抑制	○
		福岡県の政策に協力	○
化学物質管理促進法 (PRTR法)	建築材料	特定の化学物質の把握	○
		SDSを取り寄せる	○

・評価区分 ○：遵守 ×不遵守 -：該当なし

## 10.代表者による全体の評価と見直しの結果

- ・今年度は資材置場・作業所及び建設現場において、電気使用量が大幅に目標値を超えましたが、これは昨年と比較すると売上が2倍以上になっており、その売上に対しての使用量は大幅に削減できていると思われます。
- ・現場での削減は厳しいものがありますが、今一度目標を立て、事務所の方も削減に向けて、努力したいと思います。
- ・また、コロナ渦でボランティア活動の安全パトロールが中止となり、当初の活動目標が達成できませんでした。
- ・次年度は目標が実態と合っているかの視点で見直していきます。

見直し項目	変更の必要性	評価
1 環境経営方針	有 (無)	そのままよい
2 環境経営目標	(有)・無	現場の電気、本社(事務所)の地域貢献活動及びボランティア活動の目標の見直し
3 環境経営計画	有 (無)	そのままよい
4 実施体制	(有)・無	負担が大きければカバーする
5 環境関連法規等の取りまとめ	有 (無)	そのままよい
6 環境上の緊急事態への準備及び対応	有 (無)	そのままよい
7 環境関連文書及び記録の作成・管理	有 (無)	そのままよい